

## 『人』と『認知症』という見方・捉え方

人を見るスキルを高めれば  
支援は高まり充実してくる

### 今日のメニュー

1. 繋がるということ
2. 認知症
3. 認知症ケア
4. 応じかた
5. 繋げる日常
6. まとめ

人として

繋がるということ

認知症を支えるキーワード

自分以外の人やものとの繋がりの中で  
ずっと気になっていること

皆さんは  
何と繋がっていると安心ですか？

人は常に何かと繋がっている

そのことで様々な関係と  
自分とのバランスを保っている  
(人 物 地域 感じる全てetc)

## 『前提の歴史』

- 何よりも大切に何よりも優先して守らなければならないことが間違っていた
- それは
- 彼らは弱者で、守られるべき人で、介護される対象者であり、その介護や看護の名の管理下におかれているという前提があった⇒つまり、主体が私たちに在る
- しかし
- 毎日の彼らの暮らしの中に、主体者としての存在という前提があった⇒つまり、主体は彼らに在る

## 過去に行われてきた介護？

- ◆手間が省けるからと、男性はブルー、女性はピンクの上下スウェットを平気で着させる専門職
- ◆誰が見ていようが場所さえも構うことなく、オムツ交換をする専門職
- ◆おむつを外すからと背面ジッパーのつなぎ服を着せる専門職
- ◆便が出ていることがわかっているにもかかわらず、おむつを交換しない専門職
- ◆ベットに高い柵をつけてその中に放り込む専門職
- ◆自分たちに不都合があるから薬で動けなくしてしまう専門職
- ◆外に出ていけないように、建物に閉じ込める専門職
- ◆井の中にご飯もおかずも薬も放り込んで食べさせる専門職
- ◆立ったまま、何も言わずに食べ物を口の中に放り込む専門職
- ◆できることであっても危ないからとやらせない専門職
- ◆洗髪しやすいからと男女かまわず短髪にする専門職

## 『私の不思議』

- ・軽度の定義～自分たちの思うようになる認知症の人、若しくはおとなしい何も問題のない認知症の人
- ・重度の定義～自分たちの思うようにならない認知症の人、若しくは問題のある認知症の人
- ・問題の有無の定義～自分たちが安心（思い通りになる人、自分たちの言うことを聞いてくれる人、静かに一日黙って座ってくれている人、自分たちがやってもらいたい役割を気持よくやってくれる人、そもそも帰るなどと言わない人等々）してみれるかみれないかの違い

## 人の姿と認知症

- ・姿の捉え方からスタート  
どんな姿かと思っているかがその後の関わりや支援（介護・ケア）に影響する

**視点（姿の捉え方）は認識を創造し  
認識は経験を創造する**

# 認知症

その1

脳血管疾患、アルツハイマー  
病その他の要因に基づく

原因となる疾患

約70～100

その2

## 脳の器質的な変化により 脳という器が壊れてゆく

その3

## 日常生活に支障が生じる 程度にまで

これまでできていたことが  
できたりできなかったりと  
困難と思える状態へと向かう

その4

## 記憶機能及びその他の 認知機能が低下した状態

知的な能力が変化してゆく

### 認知機能とは

#### 記憶の機能

- ・ 思い出す、覚える機能

#### 見当識の機能

- ・ 時間や場所の見当をつける機能
- ・ 物の名前を見当をつける機能

#### 実行機能（行為／認識／言語など）

- ・ 生活するための行為  
（着替え・買い物・掃除・料理・トイレの始末等）
- ・ 言葉で伝えること
- ・ 字が書くこと
- ・ 判断をすること
- ・ 計算をすること
- ・ 同時に複数の事を行うこと 等々



## 認知症とは（介護保険法上からの抜粋）

- 脳血管疾患、アルツハイマー病その他の要因に基づく
- 脳の器質的な変化により
- 日常生活に支障が生じる程度にまで
- 記憶機能及びその他の認知機能が低下した状態をいう。

## 認知症ケア

『点』から『線』へ  
そして『面』への話し

もっと具体的に  
わかりやすく  
皆さんの  
身近な出来事を通して  
考えてみます

困っているポイントはここ！！

## 日常生活に支障が生じる

これまでできていたことが  
できたりできなったりと  
困難と思える状態へと向かう

お茶を飲むまで

～「お茶を飲むまで」の思考と認識と行為と感情の関係～

お茶が飲みたいと思う	台所へ歩く
正座の状態からテーブルに両手をつく	お湯を沸かそうと思う
左足は立てひざを保つ	やかんを手にする
右の足の裏を床につける	やかんのふたをとる
テーブルに置いた両手に体重をかける（この時点	やかんの水を入れる口を水道の蛇口に合わせる
で、よっこいしょ！と出る）	左手にやかんを持ち
左の足の裏を床につける	右手で蛇口をひねる
前傾姿勢を両手で支える	水の量を確認しながら適量を入れる
腰を伸ばしながら立ち上がる	やかんのふたを閉める
台所へ向きを変える	

～「お茶を飲むまで」の思考と認識と行為と感情の関係～

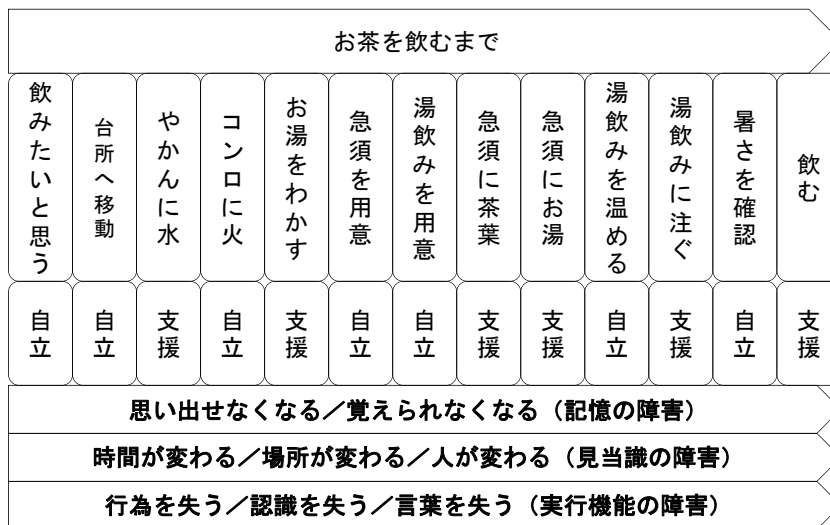
やかんをコンロに置く	お茶っ葉の入った筒のふたを開ける
コンロのダイヤルを回す	筒のふたを左手に持つ
火力を調節する	右手で筒を持ち
やかんの様子を気にかける	筒のふたに適量のお茶っ葉を入れる
お茶っ葉のある場所の見当をつける	急須のふたをとり
左手で食器棚の扉を開ける	急須にお茶っ葉を入れる
お茶っ葉の入った筒を探す	お湯が沸いたか気にかける
右手で食器棚からお茶っ葉が入った筒を取り	お湯の沸き具合を音でも確認する
出し置く	お湯が沸いたかどうか湯気の出具合で確認する
食器棚から急須を取り出し置く	お湯が沸いたことを認識する
食器棚から湯飲み茶碗を取り出し置く	コンロのダイヤルを回し火と止める
食器棚の扉を閉める	

～「お茶を飲むまで」の思考と認識と行為と感情の関係～

やかんを持ち上げ  
 沸いたお湯を適量急須に注ぎこむ  
 急須のふたを閉める  
 湯飲み茶碗にお湯を適量入れる（湯のみ茶碗を温めるため）  
 やかんをコンロの上に戻す  
 湯飲み茶碗のお湯を捨てる  
 湯飲み茶碗に急須に入っているお茶を注ぎこむ  
 湯飲み茶碗を持つ

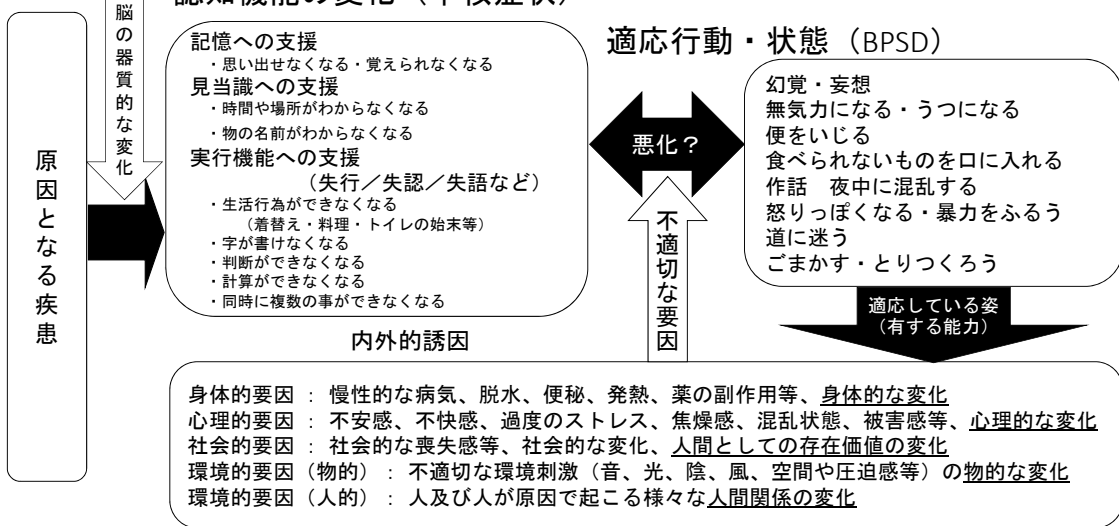
居間へ歩く（慎重に歩く）  
 居間のテーブルにお茶の入った湯のみ茶碗を置く  
 両手をテーブルにつき座る（よっこらしよ！と口から出る）  
 楽な体勢になる  
 右手に湯飲み茶碗を持つ  
 左手で底を支える持つ  
 両手で丁寧に持ちゆっくりと火傷しないよう口元に近づける  
 熱さを確認しながら口に注ぎ込み飲む

生活の支援のポイント 『生活の点の見極めから線へ繋げる（生活の再構築）』  
 認知症の状態にある人の生活行為の困りごとと支援の仕組み



# 『人』と『認知症』の繋がり図（全体像）

## 認知機能の変化（中核症状）



人（宮崎さん）の過去・現在・未来・終末

ホウキとチリトリ  
なぜゴミ屋敷になるのか？

## 認知症というのは

認知機能の障害が複雑に絡み合うことによって  
生活がうまくいかにいかなくなってゆくことをいうのです

## その人の持つ 認知症をケアするということは

生活をベースに  
どの機能等が複雑に絡み合っ  
てうかかないのかを見極めながら  
支援ゆことであり  
大事なことなんです

# 応じかた

## 不適切な（行うべきではない）関わり方

- 不適切な態度
- 不適切な言葉づかい
- もの忘れに対する不適応な対応
- 早口や理解できない言葉を使うこと
- 無理強いや強制すること



## 控えた方がいい不適切なかかわり（北海道編）

- なんでできないのさ？
- 忘れちゃったのかい？
- 前はできてたのにね？
- ダメだべさ！
- なにしてんのさ！
- そんなこともできないのかい？
- ちゃんとしてや！
- 早くして！
- あらららららら～！

## 認知機能の障害への支援

- 『手続き記憶に働きかける』
- 『見当識への働きかけ』
- 『実行機能への働きかけ』

# グループホームの場合の 支援について

『認知機能の繋がりと継続』

# デイサービスの場合の 支援について

『在宅生活の繋がりと継続』

# 役割について

アンケート結果

- 入居者(利用者)の皆さんは
- ①どのような役割をしていますか？
  - ②若しくは、してもらっていますか？

質問項目

## 所属

- 老健 5
- 特養 6
- デイ 4
- グループホーム 8
- 訪介 1
- 小規模 2
- ショート 1

(認知症介護実践研修 修了者)

入居者(利用者)は、どのような役割をしていますか？若しくはしてもらっていますか？

順位	具体的な役割の内容	件数
1	洗濯物たたみ	12
2	おしぼりたたみ 掃除	9
3	テーブル拭き 食器洗い	8
4	食器拭き	7
5	調理(手伝い/切る・炒める・米とぎなど)	6
6	洗濯物を取り込む/配膳/洗濯干し	5
7	畑・花壇作業/盛りつけ	4
8	エプロンたたみ/牛乳パックをちぎってもらう	3
9	下膳/味見/お菓子づくり/縫い物	2
10	お茶入れ/カーテンの開閉/編み物/洗車/パソコン/縄ほどき 古新聞をたたむ/レクの声出し係/職員の手伝い/知恵袋 昔話/話し相手/人生相談	1

## 所属

- 特養 6
- デイ 4
- グループホーム 8
- 訪介 1

(認知症介護実践リーダー研修)

入居者(利用者)は、どのような役割をしていますか？若しくはしてもらっていますか？

順位	具体的な役割の内容	件数
1	洗濯物たたみ	9
2	掃除	5
3	食器洗い	5
4	調理の手伝い(味見・切る・炒める・米ときなど)	5
5	盛りつけ	5
6	配膳／片付け	4
7	洗濯物干し	3
8	テーブル拭き	3
9	汚れを襲えてもらう／他の入居者を呼びに行ってもらう／洗濯物を取り込む／新聞を棚(いつもの場所)に置いてもらう／自分の洗濯物をタンスにしまう／駄菓子屋の店員(ケアハウスの入居者)／知恵袋／昔話／話し相手／人生相談／外出時のカメラ係／肩もみサークル活動の時の指導役／ムードメーカーなど／庭仕事／雪かきなど／牛乳パックをひろげる	1

## 所属

事業所所属	人数
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	19
通所介護	7
計	27

入居者（利用者）は、どのような役割をしていますか？若しくはしてもらっていますか？

	具体的な役割の内容	件数
1	洗濯物たたみ	32
2	調理（下ごしらえ／むく／切る等）	24
3	食器拭き	23
4	洗濯物を干す	20
5	掃除（拭き／掃きなど）	19
6	テーブル拭き	15
7	食器洗い	14
8	配膳	11
9	片付け（下膳など）	10
10	洗面台の掃除／庭・畑の手入れ／買物（同行）／ゴミ集め・捨てる／縫い物／おやつ作り／カーテンの開閉／生き物の世話／作品作り 身の回りの整理整頓	9～ 2

## ひとつのこと

- トイレ掃除 洗面台の掃除 炒める 洗濯物をしまう 買物の荷物持ち カートを押す 他の入居者のお世話 生け花を生ける 仏壇関係 お茶詰め 食前の挨拶 カレンダーの日めくり 盛り上げ役 メニューの紹介 帰宅時の挨拶 ゲーム 体操 新聞を取りに行く ゲームの補助

## 所属

事業所所属	人数
居宅支援事業所	29
訪問介護事業所	12
地域包括支援センター	10
小規模多機能	6
グループホーム	4
通所介護	4
訪問看護	4
介護予防センター	3
老健	2
サ高住	2
その他（家族）	14
計	90

入居者（利用者）は、どのような役割をしていますか？若しくはしてもらっていますか？

	具体的な役割の内容	件数
1	調理（下ごしらえ／炒める／味付け／米とぎ等）	47
2	食器洗い／拭き	47
3	掃除	37
4	テーブルの用意、準備	28
5	食後の片付け	15
6	孫の世話	15
7	庭・畑仕事	14
8	買物	13
9	洗濯物を干す 11	11
10	洗濯物をたたむ（6）／お茶入れ／仏壇の掃除／縫い物／新聞の整理／昔話／話し相手／人生相談／カーテンの開閉／シーツの交換	9～ 2

## ひとつのこと（役目）

季節の行事の飾りづくり キッチンペーパーの点線切り カレンダーをつくる  
 カレンダーをめくる 水くみ 調理の指導 ギターを弾く 車椅子を押す  
 お風呂の準備（お湯を入れる／着替え） ストープに灯油を入れる 縄結び  
 好きな仕事をその日にしてもらう 作品を誉める メモ帳づくり お手紙配り  
 安心感を与える タオルの管理 もちつき 簡単な記録の手伝い  
 薬を取り出して飲む ゴミステーションの清掃 レジ袋をたたむ お化粧の手伝い  
 語り部 ミシン掛け 手を握る 好きな歌をうたってもらう お裁縫を教えてもらう  
 訪問に行く職員に気をつけてをこえがけしてくれる カラオケのセット  
 レクリエーションの協力 デイサービスへ行く 家計簿をつける 日記をつける  
 他者への介助 お風呂の栓をする 家の中での大黒柱 ポストの受け取り点検  
 電話番 戸締まり確認 笑顔を見せる 昔の歌をうたい懐かしむ  
 人間教育を教えてもらう 来客の対応 他の利用者の面倒を見てもらう  
 得意な事をみてもらう お布施を渡す 子供達の指導



## 結果

- 彼らはいつも片付けばかりさせられているようだ。
- 施設、介護職側が考える『役割』を行っている傾向が垣間見られる。
- 主体的に生活を営むように支援するというよりは介護職の『手伝い』という感覚が否めない。
- 介護職用専門用語が生まれる  
「洗濯物をたたむ」⇒「洗濯物畳み」
- 認知機能への働きかけ（支援）を意識していない⇒すべてが単発でその場限りが目立つ。

## 考察

- 何らかの役に立っているという、若しくは役に立ちたいという『主体的な役割』という認識を見出すことができれば、お互いの有する能力に応じた共同生活を営むことができる。
- 自宅で生活している方々の『役割』の在り方へ近づけてゆく支援（生活の再編）が必要である。

互いに必要とする関係を  
作ることが出来た  
スタッフが気づいたこと

突然ですが  
ロールプレイ

# 読解力への挑戦

シグナルを読み解く力  
(コミュのケーション能力)

読み解く為の3つの基本中の基本

- 言語
- 準言語
- 非言語

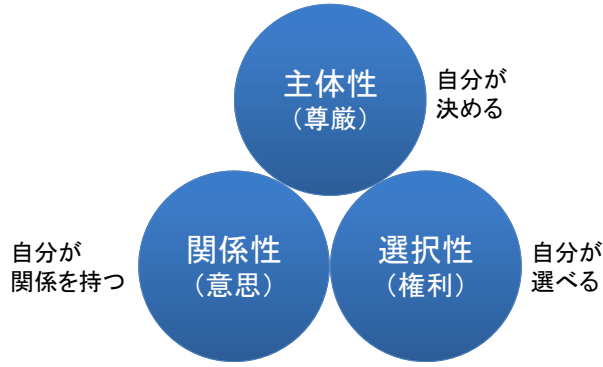
# 繋がる日常

# まとめ

すべては  
繋がっているということ  
ですから  
その繋がりを大切にすることなんです

『女子会』

# 認知症の状態にある『人』が よりよく『生きる』ための3つの原則



食 ・ 移動 ・ 排泄 ・ 住 ・ 死



僕たちの仕事は  
彼らの声なき声に耳を傾けること

『心が先、現実の後』  
僕の前提

皆さんお疲れ様でした。  
ありがとうございました。